

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	病院局県立病院課長 杉原雅行	電話番号	0853-22-5111
----------	----------------	------	--------------

事務事業の名称	中央病院による救命救急医療の実施		
目的	(1) 対象	救命救急医療を必要とする人	
	(2) 意図	適切な医療を受けている	
事業概要	三次救急機能を担い、24時間体制で適切な救命救急医療を提供する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	救命外来患者数に占める一次救急外来患者数の割合を減らす	目標値	80.0	80.0	80.0	80.0	%
	式・定義	一次救急外来患者数 / 救命外来患者数	実績値	67.3				
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	0	0
うち一般財源 (千円)		

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基じた現状)

平成27年度には、救命救急センターとして救急車による搬送を3,586人受け入れているほか、ドクターヘリの基地病院として611回の出動を行うなど、24時間体制で救命救急医療を提供している。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

救命救急センターとして、24時間体制で県内全域をエリアとした三次救急医療を提供するとともに、ドクターヘリの基地病院として救命救急医療を提供している。
平成28年4月からは、他の医療機関の紹介なしに受診する初診患者さんから非紹介患者初診時加算料として5,000円以上の支払いを受けることが義務化されたため、軽症患者による直接の救命救急センター受診が抑制され、医療機関の機能分担の促進が期待される。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

- ①困っている「状況」
引き続き適切な救命救急医療を提供するため、医療従事者の確保が重要。
また、患者さんの非紹介患者初診時加算料5,000円に対する理解が低い。
- ②困っている状況が発生している「原因」
医療従事者の確保が困難な状況が続いている。
患者さんの受診行動を促すための啓発が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
医師をはじめとする医療従事者の確保が必要。
患者さんの受診行動を促すための啓発機会の確保が必要。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むかの考え方)

関係大学や(一社)しまね地域医療支援センターとの一層の連携を図り、医師の確保・育成に努める。
また、県等が行う適切な救急医療の受診行動を促すための普及啓発へ協力する。

9. 追加評価 (任意記載)

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。
・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。